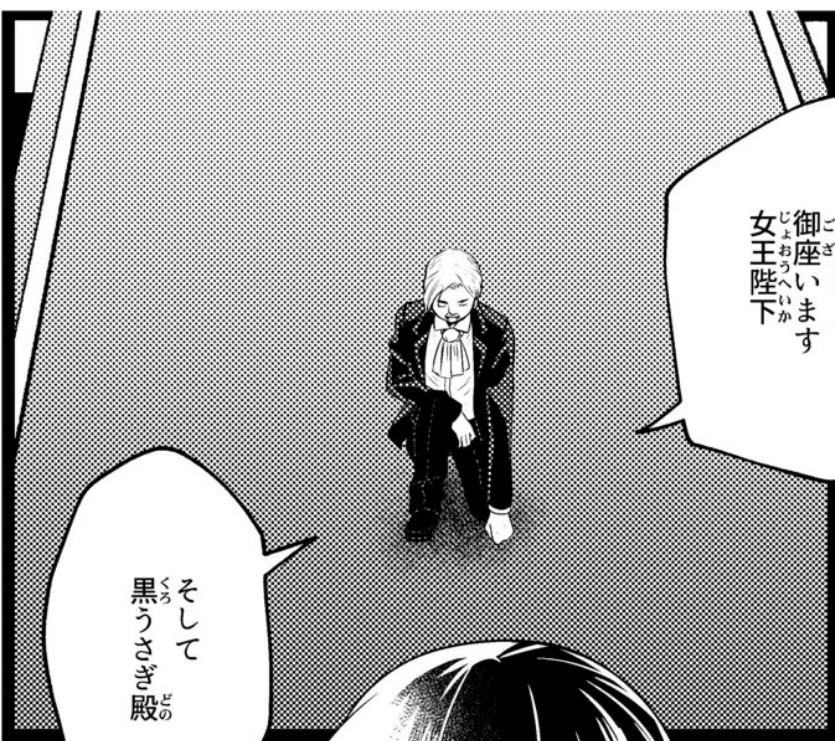




女界

~ Extra Fairy tale ~

ゆすひ



ご機嫌麗しゅう
御座います
女王陛下

そして
黒うなぎ殿



…こんにちは



…エエ
ようこそ
我が城へ



拝顔の栄に
浴させていただき
恐縮の至り…!!





…では
御用件を
お聞きしましょうか



歓迎して
差し上げますよ



いやしかし
女王陛下の
黒つさぎ殿は
お美しい！
そこいらの
うさぎとは
毛並みからして
違いますな！



…エエ
そうでしょうとも



今日は
領主の使いの人と

難しい取り引きの
話をするって
聞いたけれど…

私がついて
よかったのかな…



キッチンと
御手入れを
していただきますからね

…からだの
隅から隅まで……

……



っ…
っ…
番い…!?

どうでしょう
親善の証として我が領から
選りすぐりのうさぎを
贈らせていただきたく――



……

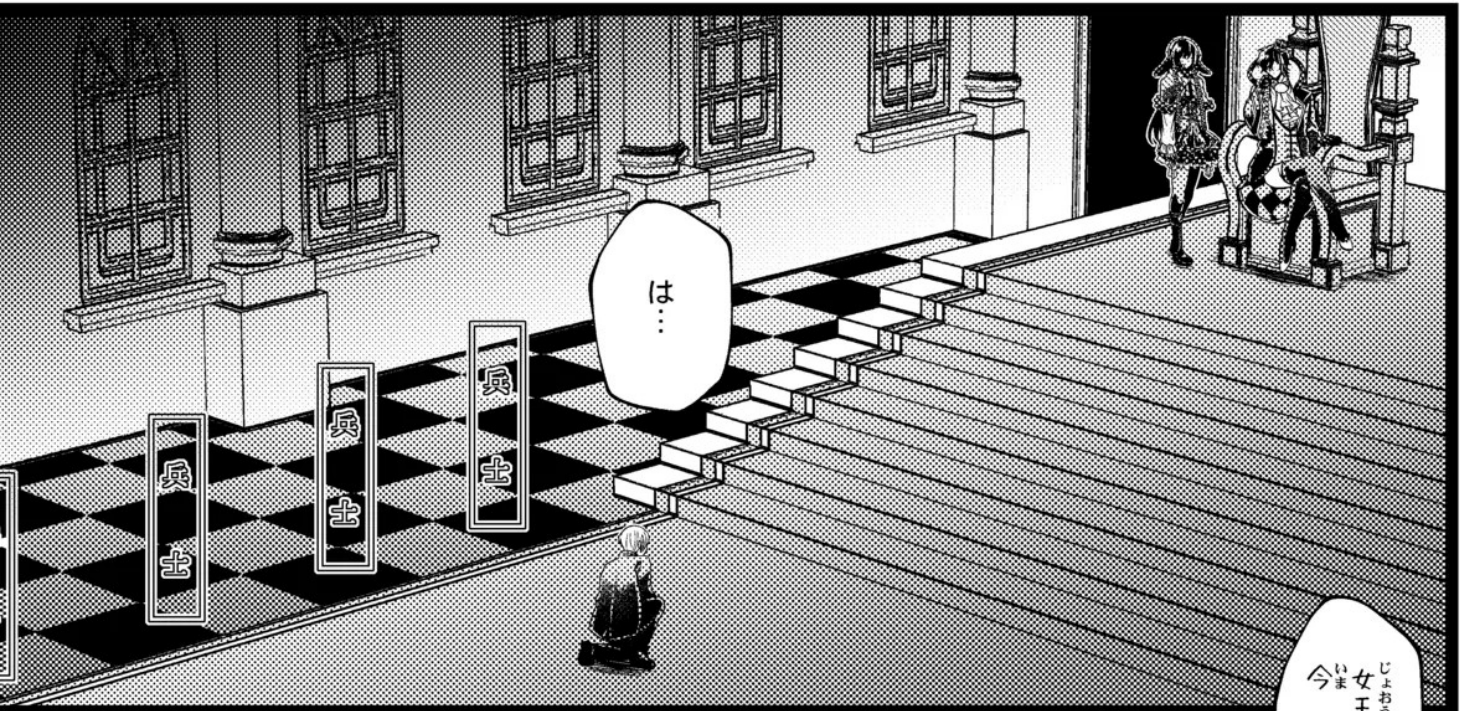


…おおっ
そうだ!

そろそろ
うさぎの繁殖期が
始まることですし

黒うさぎ殿も
番いが欲しくなる
頃でしょう

その者の
首を
刎ねなさい





黒うなぎ

部屋に
戻りますよ

!



…連れて行きなさい

女王陛下
私は何か
御不興を
買うような
ことを…ッ!?

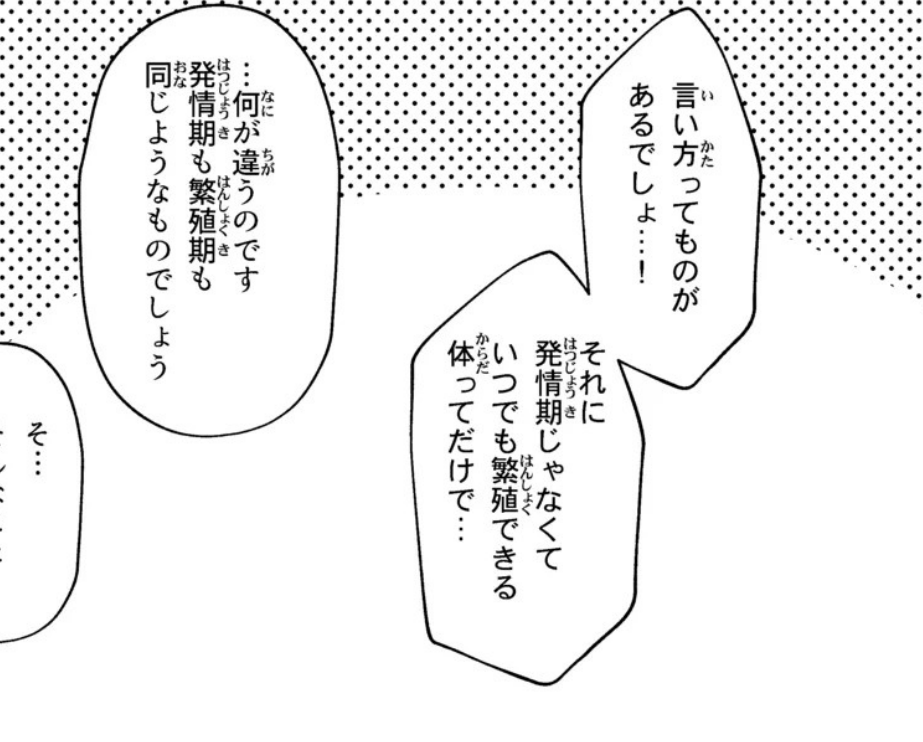
…さつきまで
あなたに機嫌
良さそう
だったのに…



わかった…

わ…







……

しゅろ……



……



あなたたち ほう
人間の方こそ
つね ほうき
常に発情期でしょ！

私たち
うさぎよりも
よつぽど色狂……

……ああ
そういえば……

え……し
えっと……

ふふ……
そうですか
色狂いですか……

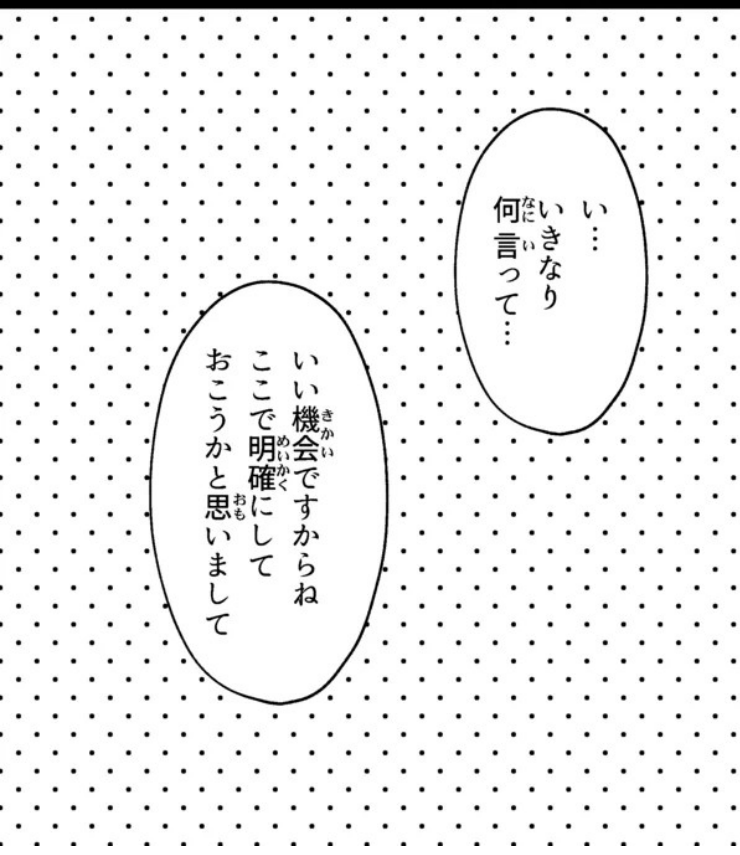
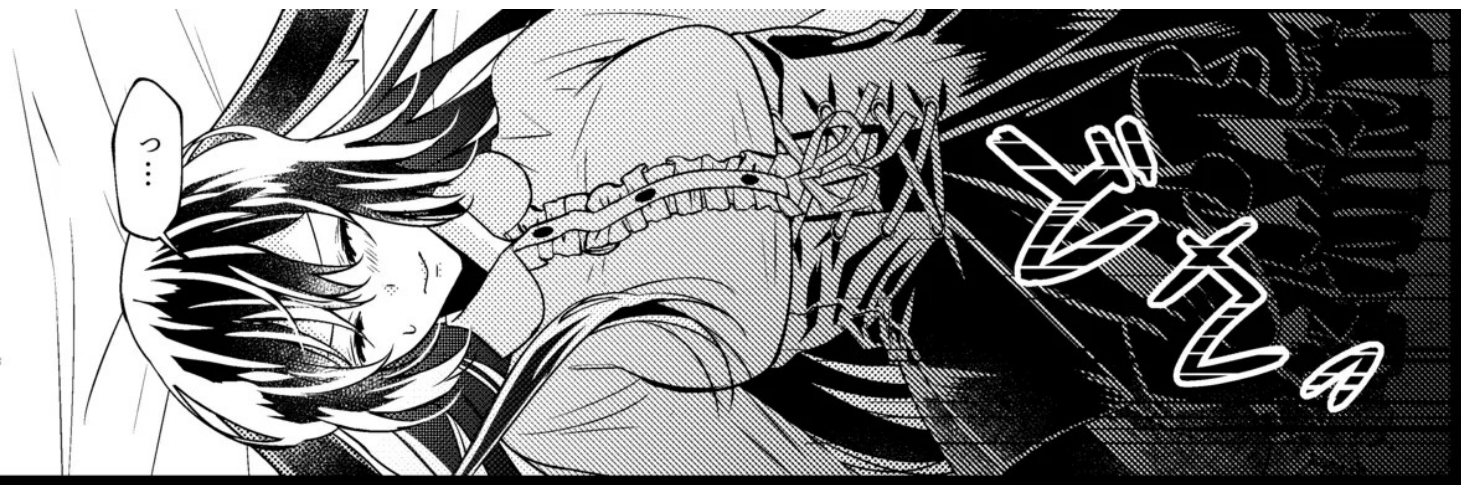


な……
なに……

いぜん
以前からアナタに
かたん
確認しようとしていた
ことがあるのですが……



……





……



そもそも
うやぎと人間で
子どもがでるの
かなあ……って……



っ……
女王……？

……これは最近
知ったこと
なのですが……



えっと……
まだそういうのは
早いというか……

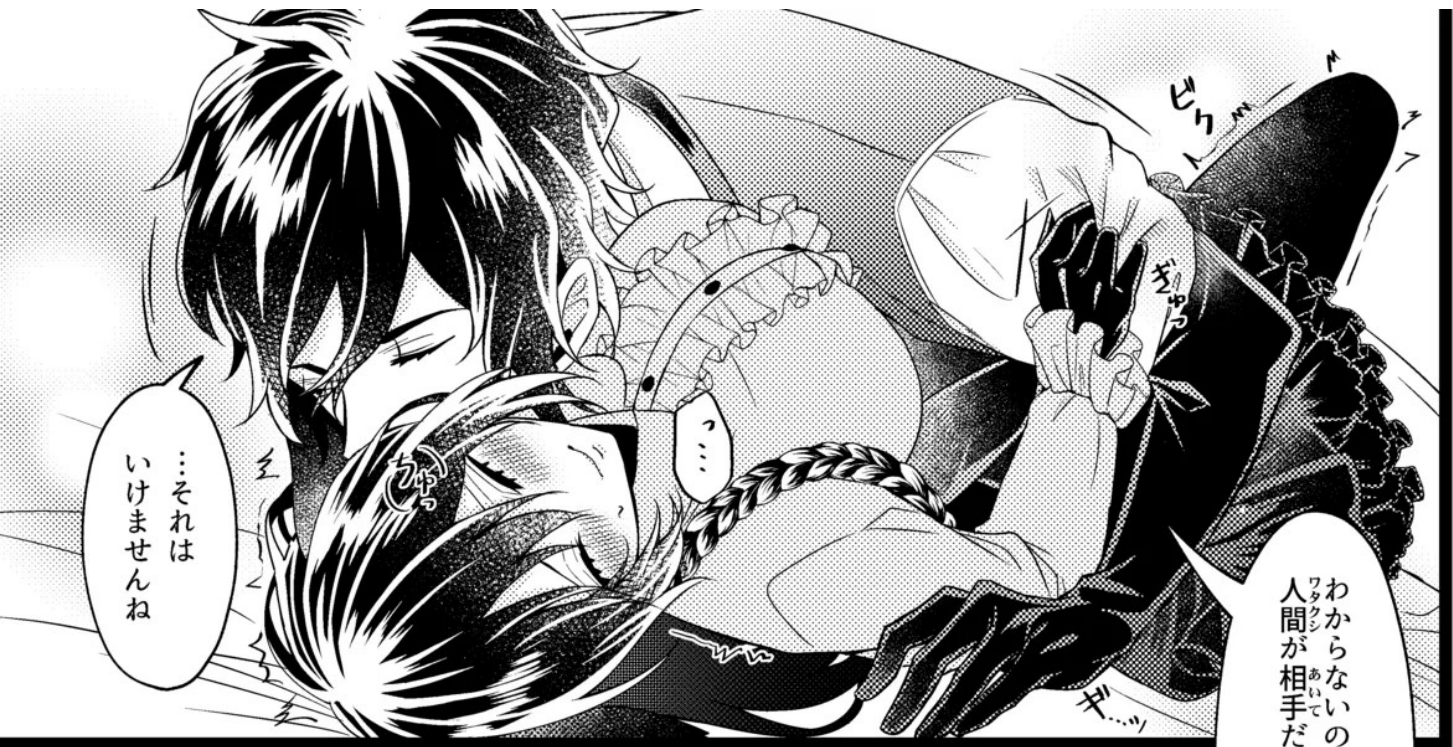


うやぎは
お尻を撫でられると
想像妊娠をして
しまうそうですね？



ほら……
どうです？
ちゃんと
想像できていますか？

わ……
わからな……



…それは
いけませんね

わからないのは…
人間が相手だから…ですか？



わからせて
差し上げますよ

…あなたの
飼主として



…？



ま...
待...
待...
待...

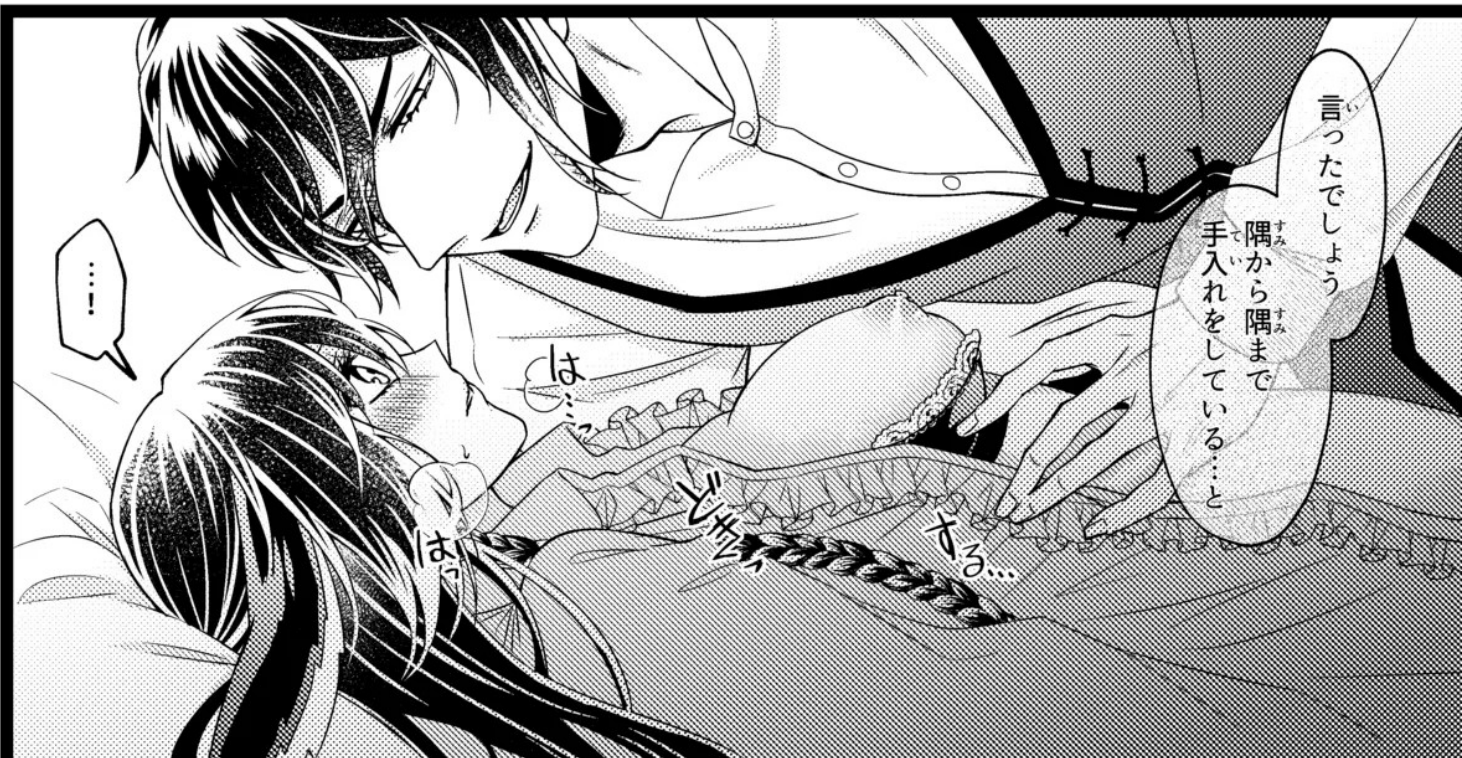


...何を今更
大丈夫ですよ



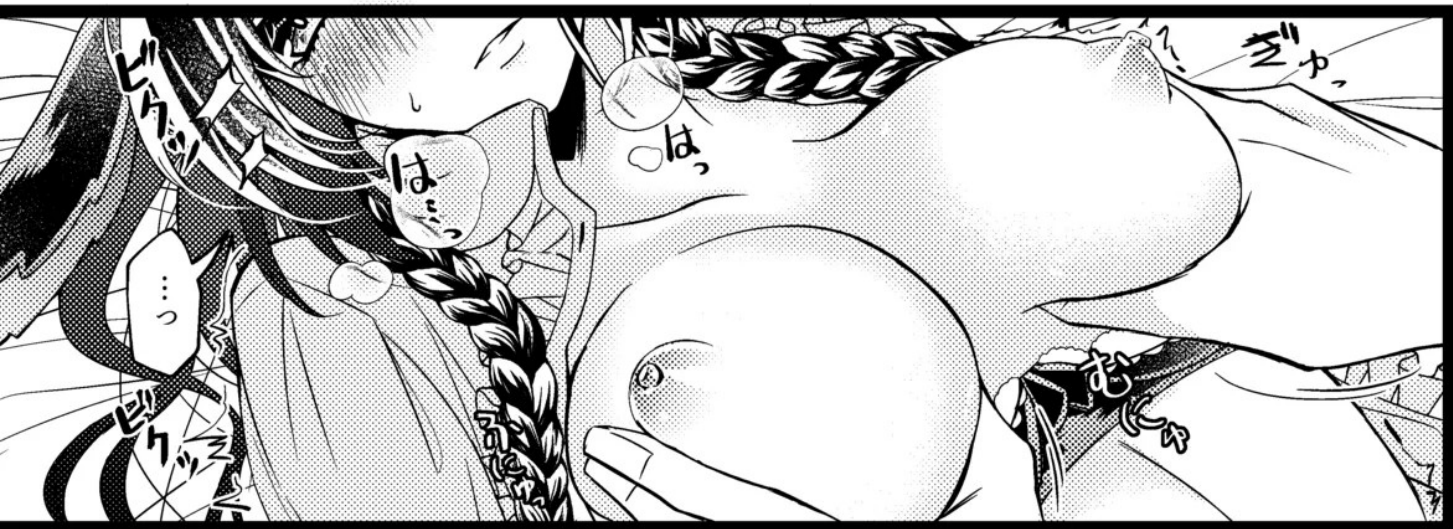
するなら
ちゃんとお風呂に
入ってからしたい...っ

からだ
汚れてるから...

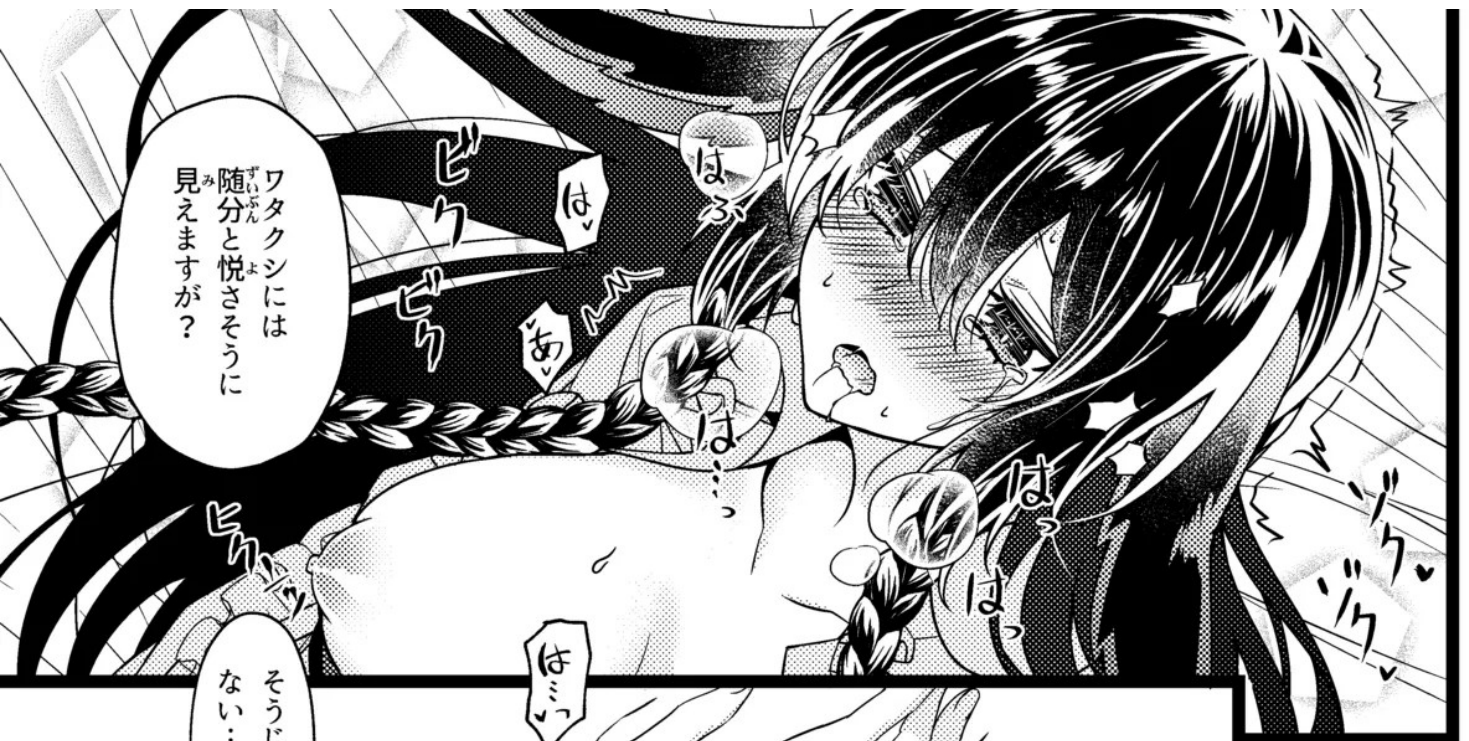


言ったでしょう
隅から隅まで
手入れをしている...と

...







ワタクシには
随分と悦ばそうに
見えますが？

そうじゃ…
ない…



ちゃんと…
触って欲しい…



…
それ程…





あなたを悦ばせているのはワタクシなのですよ

あっ
あっ

んっ



これまでもこれからもずっと...

ちゅっ

ちゅっ



聞きませんが...もう一度...

え...?



...黒くろき



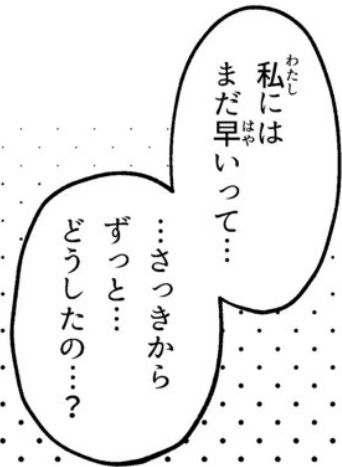
あの…
だから…

…?

あなたは
子どもが
欲しいのですか？



…
あなたが…



… さっきから
ずっと…
どうしたの…？

わたし
私には
まだ早いって…



いってないよ
そんなこと…

言ったような
ものじゃ
ないですか！

「人間相手では
子どもを
作れない」と！

ちゅっ



あなたが
同族の方が
良いだなんて…

言うもの…
ですから…

えっ



目も口も
赤らも
この人ほ

たとえ
アナタに
その気が無くとも
ワタクシは…



ちゅ



…こんな
恥ずかしいこと…

ほか
他にする相手なんて
いるわけない

…女王が相手
だからできるし…
…したい

は



家族になるのだって…
他の誰でもない…
あなたと一緒にになりたい

でも…
女王は…
それでいいの…?



ワタクシは…
初めから
そのつもりでしたよ



わっ



あなたと
確たる関係を結んで…
逃がさないよ



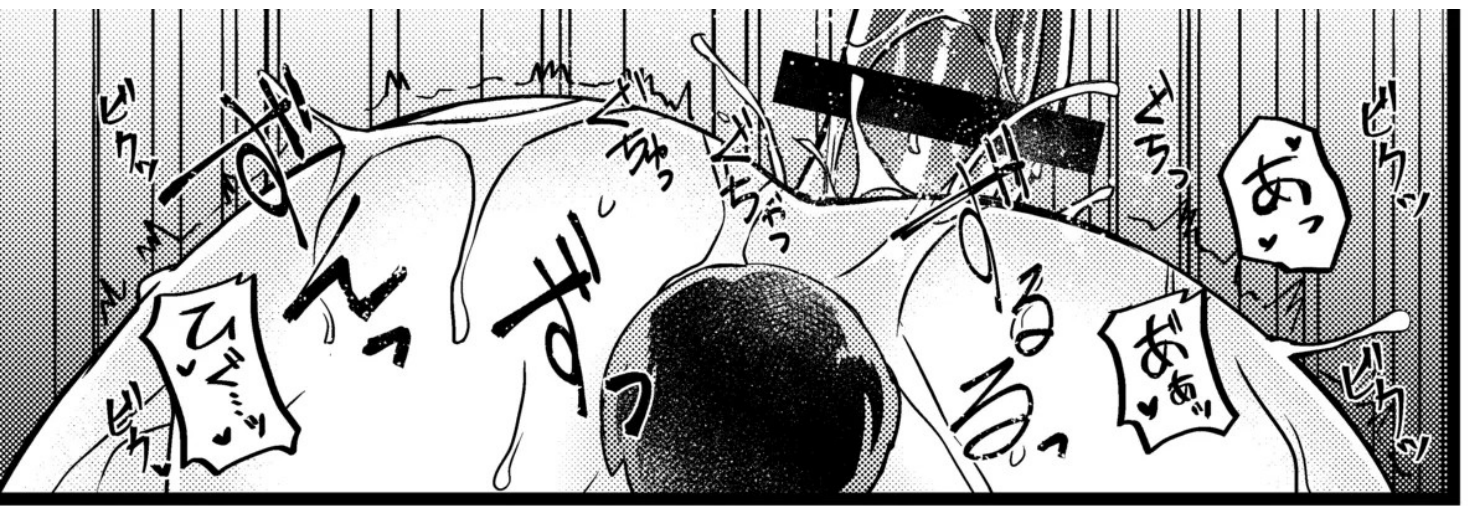
…愚問ですね

は…



アナタは
分かり難いんですよ

そうかも
しれませんがね





次…は…

顔…
見ながら…

したい…な



黒く…
まだ…
大丈夫ですよ？

っあ…
…あのね



む…
む…
む…

ほう…？
では手伝って
あげますよ

…どうしました？
もつと
腰を落とさなさい

は…

あ…

あ…



こんなにも…
あなたの
好きなところを

可愛がって
いるのですから…っ

駄目…？
そんなこと
ないでしょう



女王…
だめ…っ

駄目…？
そんなこと
ないでしょう



此処に…

…わかりますか？



あなたと
ワタクシの
子どもが
できるのですよ





…オヤ
まだ信じられ
ませんか？

…そう…
なのかな…



それ…は…



この国で女王に
不可能なことなど
ありません

断言して
差し上げましょう
できますよ



…ワタクシの
伴侶として

アナタを
孕ませます





じよおう
女王

そっか…
私でも
女王の傍に
いてもいいんだ…



…嬉しい







女王…
すき…

大好き…

黒うなぎ
て手を
出さない





なに
何か
ふまん
不満
でも？

それって
求婚
じゃなくて
脅迫…

ハートの女王

まったく…
このワタクシに
何を言わせて
いるのですか
…でも

プロポーズ
お受けします
…ずっと
一緒にいてね

ワタクシは
女王なので
懇願など
するはずが
ないでしょう
ああ本当に…
もう絶対に
言いませんからね…

脅迫だろうと
あの言葉は
確かに
求愛だった

後日
…いえね
子ども名前は
どうしますか？
いっつか
候補を
考えたの
ですが…
…気が
早いんじゃないかな…

閲覧ありがとうございました！

